



**MORITA GROUP**  
人と地球のいのちを守る

**BUSINESS REPORT**

株主・投資家の皆様へ

# 第88期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

証券コード 6455



## TOP MESSAGE ご挨拶

当社は、1907年（明治40年）の創業以来、長きにわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。これもひとえに株主様をはじめ関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

当社グループは、「人と地球のいのちを守る」というスローガンを掲げ、消防車両・防災・産業機械・環境車両の4つの事業を展開し、災害から人々の生命、財産、そしてかけがえのない地球の自然を守る企業グループであり続けること、またそのために一層の技術革新と挑戦を続け、新たな価値を創造することが私たちの使命であると考えております。

当社グループは、2025年度を最終年度とする中期経営計画《Morita Reborn 2025》で掲げる、「既存事業の収益力強化」、「海外事業・新規事業の育成、拡大」、「基礎研究力・新商品開発力の強化」、「革新力を持った人材の育成」、「CSR活動の推進」を基本方針とし、グローバルな総合防災ソリューション企業へと飛躍すべく確実に実行してまいります。これからも、広く社会から信頼される企業グループを目指し、全社一丸となって邁進してまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO **中島 正博**

代表取締役 社長執行役員 **尾形 和美**



## 第88期の概況

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
84,667 百万円	8,855 百万円	9,479 百万円	6,224 百万円
前期比 2.6%減 ↓	前期比 0.0%増 —	前期比 1.6%増 ↑	前期比 10.7%減 ↓

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う社会・経済活動の制限により大きく収縮し景気後退局面となりました。各種政策の効果や海外経済の改善により持ち直していくことが期待されるものの、感染再拡大による国内外経済の下振れリスクもあり、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、従業員をはじめとしたステークホルダーへの罹患リスク低減を図り、感染拡大防止に努めつつ企業活動を行ってま

いりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は前連結会計年度比2,254百万円減少し、84,667百万円（2.6%減）となりました。営業利益は前連結会計年度比0百万円増加し、8,855百万円（0.0%増）となり、経常利益は前連結会計年度比153百万円増加し、9,479百万円（1.6%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に固定資産売却益を計上したこともあり、前連結会計年度比747百万円減少し、6,224百万円（10.7%減）となりました。

## BRONTO SKYLIFTの高所作業車を、NASAへ納入しました!

BRONTO SKYLIFTは、2021年4月、アメリカ・カリフォルニア州にあるNASAの深宇宙通信用ネットワークアンテナのメンテナンス作業用に高所作業車を納入いたしました。

NASAは、地球から遠く離れた宇宙船と交信するための「Deep Space Network (DSN)」と呼ばれる通信システムを利用し、そのために、世界に3か所ある大型のアンテナ複合施設を運営しています。



高所作業車を使用しメンテナンスするアンテナ

今回、そのうちの1か所であるゴールドストーン深宇宙通信施設にある直径70mの大型アンテナをメンテナンスするために、同社の高所作業車が採用されました。2005年には、オーストラリア・キャンベラのDSN施設にも同じクラスの高所作業車が納入されており、メンテナンス作業時に活躍しています。



NASAに納入した高所作業車 (S70XDT)

### BRONTO SKYLIFT OY AB

BRONTO SKYLIFTはフィンランドに本社を置き、2015年にモリタグループへ迎え入れた企業です。屈折はしご付消防車の世界トップブランドで、最長112mまで到達する高所作業車を含め、世界100か国以上に製品を販売しています。

## 塵芥車臭気抑制装置「ミラクルキヨラ™」～ニオイ気にせず快適作業～

モリタエコノスは、塵芥車（ごみ収集車）の作業現場周辺とオペレーターの労働環境の改善を目指した塵芥車臭気抑制装置「ミラクルキヨラ™」を花王株式会社と「ニオイ気にせず快適作業」をコンセプトに共同開発し、悪臭低減剤とナノ化噴霧技術で生ゴミ等が放つ悪臭を抑制する装置を本年1月より販売開始いたしました。「ミラクルキヨラ™」は、投入口内側から森林浴をイメージしたハーブ系の爽やかな香りの悪臭低減剤を噴霧し、投入口周辺の悪臭を抑制することで、ごみ収集作業の環境改善を図ります。ナノ化噴霧技術により、軽く・細かい粒子を投入口内に素早く拡散・浮遊させ、効率的に悪臭を抑制することができます。積込作業中の現場悪臭、走行時の残り悪臭、作業着へのしみつき悪臭の抑制等、様々なシーンでのニオイに関する課題解決に貢献します。

モリタエコノス製の塵芥車全機種に対応しており、ご使用中の車両にも搭載可能です。

モリタエコノスは、今後もお客様の声を大切にし、環境に配慮したより良い製品を追求してまいります。



作業中  
現場悪臭を抑制



走行時  
残り悪臭を抑制



作業後  
しみつき悪臭を抑制



## 「地域を守るヒーロー(消防隊員)を手助けするマシン」をイメージした第1号車を納入

モリタは、デザイン性・安全性・機能性を高次元で融合した「モリタオリジナルキャビン Intelligent Attacker (インテリジェントアタッカー)」をモデルチェンジしました。

モリタオリジナルハイルーフキャビンRed Armor (レッドアーマー)の意匠を継承しつつ、キャビン内の室内空間を飛躍的に拡大。モダンで力強い外観デザインを実現し、「地域を守るヒーローである消防隊員を手助けするマシン」をイメージしました。

安全性については、キャビン後部の片側4か所に窓ガラスエリアを配置することで、車内からの視認性が確保され、後席隊員からも安全確認がしやすくなりました。

機能性については、乗降性をさらに向上させるため、展開式昇降ステップを採用しています。また、広い室内空間を実現するため、ダブルキャブ車の後席部分を延長し、クラス最大級の後席スペースを確保しました。さらに、後席は、ヘルメットを装着した隊員に配慮し、室内高1,880mmを確保しております。キャビン内のレイアウトは、前席・後席を行き来できるウォークスルータイプも選択できます。

「モリタオリジナルキャビンIntelligent Attacker (インテリジェントアタッカー)」は、救助工作車や水槽車など多機種展開が可能です。

モリタは、消防活動や災害救助活動を支援するため、使いやすく安全と安心に貢献できる消防車を提供いたします。



※写真は、第1号車として、2021年2月に福岡県春日・大野城・那珂川消防組合消防本部様に納入した車両です。

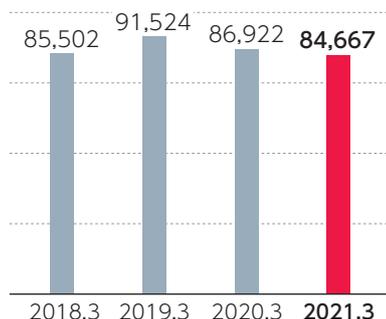
### 表紙

全国の小学生を対象とした「第16回未来の消防車アイデアコンテスト」  
最優秀賞 永井 文人さん(小学4年生 ※応募時)の作品です。

財務ハイライト (連結)

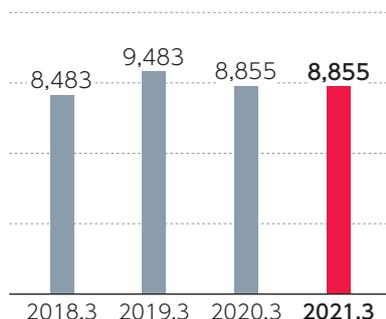
売上高

単位：百万円



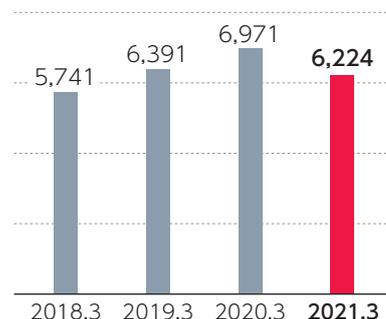
営業利益

単位：百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



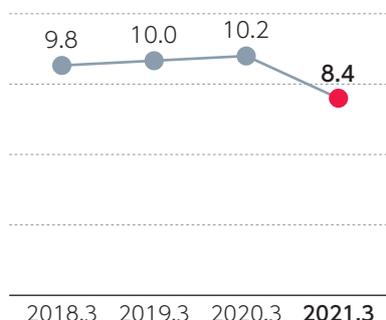
売上高営業利益率

単位：%



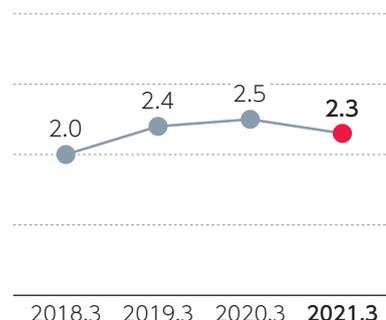
自己資本当期純利益率 (ROE)

単位：%



株主資本配当率 (DOE)

単位：%



セグメント別概況

防災事業



売上高	18,035百万円
前期比	8.8%減
セグメント利益	988百万円
前期比	42.5%減

自動消火設備の売上が低調であったことから、減収減益。

消防車両事業



売上高	51,784百万円
前期比	1.5%増
セグメント利益	6,621百万円
前期比	15.8%増

国内外ともに堅調に推移し、増収増益。

環境車両事業



売上高	10,870百万円
前期比	1.1%増
セグメント利益	882百万円
前期比	0.2%増

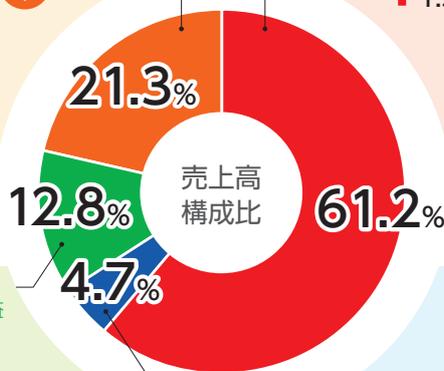
製品の売上が堅調に推移したことから、増収増益。

産業機械事業



売上高	3,977百万円
前期比	26.0%減
セグメント利益	308百万円
前期比	39.3%減

製品の売上が低調であったことから、減収減益。



# 会社・株式情報

商号 株式会社モリタホールディングス  
創業 1907(明治40)年4月23日  
設立 1932(昭和7)年7月23日  
資本金 47億4,612万円  
大阪本社 大阪市中央区道修町3丁目6番1号  
東京本社 東京都港区芝5丁目36番7号  
事業内容 グループ各社の事業活動の支配・管理  
及び管理間接業務の受託

## 役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役	尾形和美
取締役	森本邦夫
取締役	金岡真一
取締役	磯田光男
取締役	川西孝雄
取締役	北條正樹
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	宮崎敦志
監査役	太田将
監査役	西村捷三
社長執行役員	尾形和美
常務執行役員	森本邦夫
常務執行役員	金岡真一
常務執行役員	村井信也
執行役員	伊藤満

## 株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  
公告の方法 電子公告とし、当社のホームページに掲載する。  
<https://www.morita119.com/kohkoku/index.html>  
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
上場証券取引所 東京証券取引所  
1単元の株式数 100株

## 主要グループ会社

株式会社モリタ 兵庫県三田市テクノパーク1番地の5  
はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防  
車両並びに特殊車両の開発・製造・販売

モリタ宮田工業株式会社 東京都江東区有明3丁目5番7号  
消火器を中心とした消火関連機器、消火  
装置、その他各種防災機器・設備の開  
発・製造・販売

株式会社モリタ環境テック 千葉県船橋市小野田町1530番地  
リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理  
施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の  
開発・製造・販売

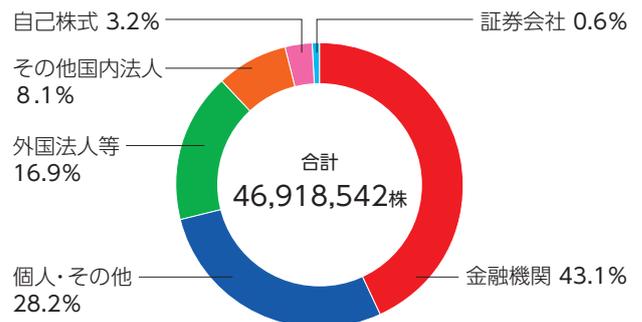
株式会社モリタエコノス 兵庫県三田市テクノパーク28番地  
衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・  
製造・販売

株式会社モリタテクノス 兵庫県三田市テクノパーク32番地  
消防車両・救助用資機材等のアフターサー  
ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器  
具・情報処理機械器具の開発・製造・販売

BRONTO SKYLIFT OY AB フィンランド共和国 タンペレ市  
屈折はしご付消防車及び高所作業車の開  
発・製造・販売

## 所有者別株式数分布状況

2021年3月31日現在



## 大株主(上位10名)

2021年3月31日現在

株主名	持株数(千株)
第一生命保険株式会社	3,265
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,345
モリタ取引先持株会	2,288
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,769
エア・ウォーター株式会社	1,730
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	1,017

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 当社は自己株式1,482千株を保有しております。

人と地球のいのちを守る

**MORITA**  
株式会社モリタホールディングス

[大阪本社]  
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号  
☎06-6208-1907

[東京本社]  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番7号  
☎03-6400-3480

<https://www.morita119.com>



ユニバーサルデザイン(UD)の  
考えに基づいた見やすいデザイン  
の文字を採用しています。